

# 市村清ゆかりの地探訪

佐賀県の貧農の家に生まれながら、数々の困難を乗り越えて、リコー三愛グループの礎を築いた創業者・市村清。その原動力となったのは卓抜たるアイデアとたゆまぬ実行力、そして故郷を愛する心でした。ゆかりの地を訪ね、その足跡に触れて、「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」の精神に徹して走り続けた市村の生きざまを感じてみてはいかがでしょうか。



## 大田区北馬込の高台に立つ白亜の洋館 公益財団法人新技術開発財団 (旧市村邸)

1937年、37歳の市村は北馬込に居を構えました。眼下に見える細い道に面して旭光学(リコーの前身)の工場がありました。やがて、細い道は環状7号線に、工場は現在のリコー大森事業所の基盤となりました。54年に新築された自宅は、2階につながるらせん階段、応接室の丸い出窓、和室の丸窓など、市村が好んだ柔らかな曲線がここに生かされた設計となっています。現在は、市村の遺志によって設立された財団に寄贈され、財団本部となっています。

- 所在地  
東京都大田区北馬込  
1-26-10  
TEL 03-3775-2021
- 最寄駅  
東急往原町駅下車、徒歩7分。都営地下鉄馬込駅下車、徒歩8分

HP <http://www.sgkz.or.jp/>

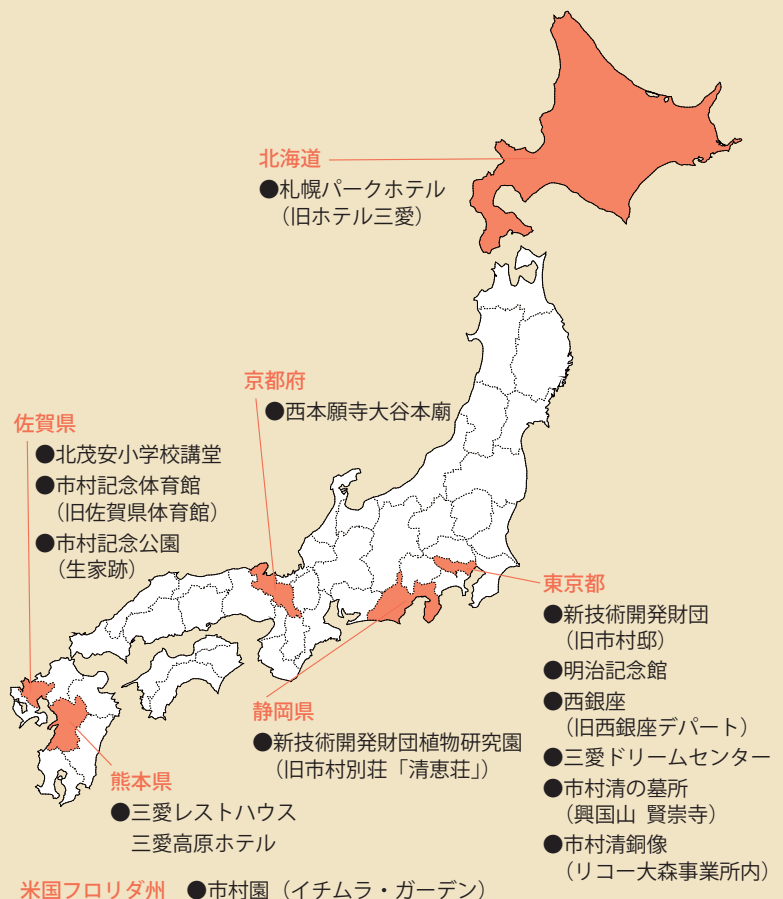


## 36歳のときにつくった熱海の別荘(清恵荘) 新技術開発財団 植物研究園 (旧市村別荘)

理研の感光紙部長に就任したとき、市村の手元に代理店(吉村商会)を返上した大金がありました。預金をしておけば、利息で食べていかれるが、そんなことをしては人生が怠惰になってしまう。そう考えた市村は、約12,000m<sup>2</sup>の土地を買って別荘を建てたのです。(夫婦の名前から「清恵荘」と命名) 幸恵夫人の死後、財団に遺贈され、植物研究のための施設として開園しました。春の花と秋の紅葉の時期には、一般公開も行われています。

- 所在地  
静岡県熱海市相原町  
11-8  
TEL 0557-81-2656
- 最寄駅  
JR熱海駅、または来宮駅より相原の原団地行きバス、上相の原下車、徒歩3分

HP <http://www.sgkz.or.jp/outline/brg/>





市村の胸像



市村が寄贈した講堂（1958年当時）

## 故郷に恩返しをしたいと母校に寄贈 佐賀県みやき町立北茂安小学校 講堂

市村は故郷を愛していました。苦難の思い出に満ちた地でしたが、人生の出発点でもあったからです。この講堂は故郷への恩返しの気持ちから、1958年寄贈されました。

それから30年余りが過ぎ、建物の老朽化が進んだため、91年に建て替え。新講堂には、市村清コーナーが設けられ、市村の業績を児童たちに伝えています。

現在、児童数約500名、「互いの生命を大切にし進んで学ぶ児童」という教育目標の下、元気いっぱい学んでいます。

### 所在地

佐賀県三養基郡みやき町  
大字東尾 420  
TEL 0942-89-2123

### 最寄駅

JR久留米駅より佐賀第二合同庁舎行き、または鳥栖駅前行きバス、北茂安小学校前下車、徒歩4分

HP <http://cms.saga-ed.jp/hp/kitashigeyasu-e>



## 戦後まもなく手掛けた明治神宮の結婚式場 明治記念館

1947年、明治神宮の再建に力を貸してほしいと依頼された市村は、古く厳粛な形式を残す憲法記念館の建物を見ているうちに、結婚式場のアイデアがひらめきました。

狙いは大成功で、その年の挙式数は295組を数えました。また、翌年開設した結婚相談所には、若い男女が大勢訪れたのです。

その後、市村は経営から退きましたが、同館はさらに発展を続けて施設も拡大。開館70周年を迎え、挙式数も20万組を超えました。

### 所在地

東京都港区元赤坂  
2-2-23  
TEL 03-3403-1171

### 最寄駅

JR信濃町駅下車、徒歩3分

HP <http://www.meijikinenkan.gr.jp/>



## 米国マイアミ市に寄贈した日本庭園 市村園（イチムラ・ガーデン）

1957年、米国のカメラショーに出席した市村は、帰途立ち寄ったマイアミ市に日本の桜の寄贈を申し出ました（翌年、オーキッドに変更）。さらに3年を掛けて日本庭園を造らせ、日米親善の一役を果たしたのです。

しかし、度重なるハリケーンなどにより甚大な被害を受け、その後、修復工事を経て、現在はマイアミ市営庭園「市村園」として公開されています。市村園では季節ごとのイベントなども開催されています。

### 所在地

1101 MacArthur Causeway,  
Watson Island,  
Miami, FL 33139  
TEL +1 305-992-0703

HP <http://friendsofjapanesegarden.com/>



## ショッピングセンターの草分け 西銀座（旧西銀座デパート）

戦後、西銀座の名所であった数寄屋橋の堀は高速道路のために埋め立てられ、道路下は事務所や商店街になりました。商店街の真ん中にオープンした西銀座デパート（市村が初代社長）は、有楽町の新名所として、おしゃれな女性たちでにぎわいました。

現在JR有楽町駅や東京メトロ銀座駅から直結していて、アクセス抜群！女性ファッション、三愛水着楽園、レストランなど多彩な店舗が揃っていて、当選数日本一といわれる宝くじ売り場もあります。

### 所在地

東京都中央区銀座4-1  
TEL 03-3566-4111

### 最寄駅

JR有楽町駅下車、徒歩3分。東京メトロ有楽町駅、または銀座駅下車、徒歩すぐ

HP <http://www.nishiginza.co.jp/>





## 郷土の青少年スポーツ振興のために 市村記念体育館（旧佐賀県体育館）

故郷佐賀県の青少年スポーツ振興のために、私財を投じて寄贈した体育館。落成式に出席した市村は、館内を圧する拍手と歓声に迎えられて、「故郷に残し得る一番大きなものになったかもしれぬ」と目頭が熱くなるのでした。設計は、坂倉準三氏。

現在は市村記念体育館と改称。バスケットボールのコート2面を取れる広さの競技フロアと820席のスタンドを要しており、室内スポーツ大会やイベントなどに利用されています。

■所在地  
佐賀県佐賀市内  
2-1-35  
TEL 0952-22-8024

■最寄駅  
JR 佐賀駅から県庁前・  
佐嘉神社前行き市営バス、  
佐嘉神社前下車、徒歩7分

HP <http://www.seika-spc.co.jp/saga-undo/>



## 今なお銀座4丁目のランドマーク 三愛ドリームセンター

1963年1月13日午前0時の開館披露宴。ドラムロールが響く中、総ガラス張りの円筒形ビルの1階から上へと順に明かりがともって行き、最後に広告のネオンが点灯して全館が金色に。この瞬間、見守っていた群衆から盛大な拍手がわき起こりました。

オープンから50年余り、今なお銀座4丁目のランドマークです。8・9階の「リコーイメージングスクエア銀座」（下記HP）では、写真展などが開催され、カメラ愛好家たちの人気を集めています。

■所在地  
東京都中央区銀座  
5-7-2  
TEL 03-3289-1521  
(リコーイメージング  
スクエア銀座)

■最寄駅  
東京メトロ銀座駅下車、  
徒歩1分

HP <http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/squareginza/>



## 冬季オリンピックに向けて建設された国際級ホテル 札幌パークホテル（旧ホテル三愛）

札幌冬季オリンピック開催が決まり、札幌にホテルを造ってほしいという要請を受けて、1964年に創設した国際級の豪華ホテル。リコーの不振などにより2年足らずで手放しましたが、三愛精神は創業の精神として、しっかりと受け継がれてきました。

現在は、札幌駅から地下鉄で3駅目というアクセスの良さ、開業以来50有余年という歴史に培われた温かなサービス、自然豊かなロケーションが高い評価を受け、札幌有数のシティホテルとなっています。

■所在地  
北海道札幌市中央区  
南10条西3丁目1-1  
TEL 011-511-3131

■最寄駅  
地下鉄中島公園駅下車、  
徒歩すぐ

HP <http://www.park1964.com/>



## 佐賀鍋島藩歴代藩主の菩提寺 市村清の墓所（興国山 賢崇寺）

1968年12月16日、市村清は68歳の生涯を終えました。今、両親や幸恵夫人とともにここに眠っています。三愛会では毎年命日などに墓参を行っています。

賢崇寺は佐賀藩士をはじめ佐賀ゆかりの人々の墓が多くあります。市村がここを選んだのも、佐賀出身であり、祖父が佐賀藩士だったことによるものです。

■所在地  
東京都港区元麻布1-2-12  
TEL 03-3451-2359

■最寄駅  
都営地下鉄・東京メトロ麻布十番駅下車、徒歩5分



### 市村夫妻の分骨を納めた親鸞聖人の廟所 西本願寺大谷本廟

市村清の四十九日法要を終えた1969年春、幸恵夫人は市村の分骨を京都の浄土真宗本願寺派(西本願寺)大谷本廟に納めました(後に、幸恵夫人の分骨も納められた)。大谷本廟は浄土真宗の宗祖である親鸞聖人の廟所で、大谷墓地や無量寿堂(納骨所)には、全国の門信徒の遺骨が納められています。三愛会近畿支部では、毎年4月に法要を営み、創業者の遺徳を偲びつつ、親睦を深めています。

■所在地  
京都府京都市東山区  
五条橋東6丁目514  
TEL075-531-4171

■最寄駅  
JR、近鉄京都駅より市バス206系統、五条坂下車、すぐ

HP <http://otani-hombyo.hongwanji.or.jp/>



### 雄大な阿蘇五岳や九重連山を一望する 三愛レストハウス・三愛高原ホテル

1963年、やまなみハイウェイ(九州横断道路)の建設が決まり、市村は当時の南小国村の村長から土地開発の依頼を受けました。大自然をなるべく壊したくないという村長の気持ちを受け、天然と人工とをいかに調和させるかに腐心して、65年、瀬の本高原の三愛レストハウスを完成。さらに、83年には三愛高原ホテルを開業しました。阿蘇の大自然を満喫できると両施設の評判は高く、特に阿蘇五岳の絶景と満天の星空を望めるホテルの露天風呂が人気です。

■所在地  
三愛レストハウス  
熊本県阿蘇郡南小国町  
満願寺 5621-7  
TEL 0967-44-0011

三愛高原ホテル  
熊本県阿蘇郡南小国町  
満願寺 5644  
TEL 0967-44-0121

■最寄駅  
JR 宮地駅下車、車で約30分

HP <http://www.san-airesthouse.jp/> (三愛レストハウス)  
HP <http://www.san-aihotel.gr.jp> (三愛高原ホテル)



### 佐賀県の生家跡地を公園として寄贈 市村記念公園(生家跡)

佐賀県の東端に位置する三養基郡みやき町(旧北茂安村)、ここが市村清の生誕地です。明治維新まで旧鍋島藩の領地であり、市村の祖父は佐賀鍋島藩士、父も武士の末裔でした。市村自身、佐賀の士族の資質を受け継いでおり、それが人生の大きな力となったと感じていました。2001年、市村清生誕100年を記念して、生家のあった場所を市村記念公園として町に寄贈。市村の胸像も建てられました。現在は地元の人たちが管理しています。

■所在地  
佐賀県三養基郡みやき町  
白壁(市原)

■最寄駅  
JR 久留米駅より佐賀第二合同庁舎行き、または鳥栖駅前バス、通瀬橋下車



### 社員たちの募金で建立された 市村清銅像(リコー大森事業所玄関前)

1969年12月16日(市村清の一周忌)、リコー本社(当時)玄関前で、市村の銅像除幕式が行われ、生前親交のあった政財界、学界、芸能界の方々、近親者、グループ各社代表約100名が出席しました。台座正面の「市村清像」は市村が最も敬愛した石坂泰三氏の揮毫によるもの。建立募金に応募した約14,600名の名簿は台座の中心部に埋蔵され、保存されています。愛用の椅子に座したその姿は、今なお社員たちを見守っているかのようです。

■所在地  
東京都大田区中馬込 1-3-6  
TEL 03-3777-8111

■最寄駅  
都営地下鉄馬込駅下車、徒歩8分。東急荏原駅下車、徒歩8分

HP <http://www.ricoh.co.jp/>